



佐野圭太
循環器内科部長

手術室を整備して、体への負担が軽い心臓弁手術を導入する。

医療最前線 新3OR始動

県立中央病院から

〈290〉

山梨県立中央病院は手術室（OR）の機能拡充に伴い、カテーテルを用いた血管内治療の体制を強化する。カテーテル室を新設し、同時に複数の患者の手術に対応。心臓血管治療専用の

同院循環器内科部長の佐野圭太医師によると、心筋梗塞などに対するカテーテル治療は3階のメイン手術室（中央手術室）の1室で行っている。数カ月後、1階にある高度救命救急センターにもう1室新設し、院内2カ所で行えるよう

者の受け入れ要請があった場合、対応できずに別の病院に依頼することもあるという。「県内唯一の3次救急医療機関であり、緊急手術の割合が高い。患者が重なる」と搬送を断らざるを得ない状況が発生してしまう」と

弁狭窄症「僧帽弁逆流症」の患者には、循環器内科と心臓血管外科が連携してカテーテル治療を行う。両心臓弁の機能回復の方法として開胸手術があるが、人工心臓を使つて一時的に心臓を停止させる必要があり、高齢者は体力的に

カテーテル治療体制強化 複数患者の手術に対応

うにする。

心筋梗塞などで狭くなった冠動脈を広げるカテーテル治療（PCI）は、同院で年間200件前後。このうち、同院に搬送された患者を緊急で手術した割合は半数に上る。手術中にカテーテル治療が必要な別の患

佐野医師。「カテーテル室の増設によって救急対応がより強化される」と説明する。

一方、心臓血管治療専用の手術室は、3階のメイン手術室の1室を利用して整備。心臓弁の機能が低下して引き起こされる「大動脈

厳しかった。カテーテル治療は体への負担が軽く入院期間が短くなるため、高齢者の治療の幅が広がるといふ。年内の開始を目指し、準備を進めている。

手術室の機能拡充を含め、最先端医療を意識してきた同院は研修医の人氣も

1階にある高度救命救急センターにもう1室新設し、院内2カ所で行えるよう

手術室の1室を利用して整備。心臓弁の機能が低下して引き起こされる「大動脈

手術室の機能拡充を含め、最先端医療を意識してきた同院は研修医の人氣も

1階にある高度救命救急センターにもう1室新設し、院内2カ所で行えるよう

山梨県立中央病院 PCI 手術件数の推移

